

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	津波火災小委員会		主 査 名：西野智研 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：萩原一郎 主 査 名：
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波火災の被害予測手法，および，それを活用した津波避難ビルの防火対策や配置の検討に関する最新の研究成果を解説した報告書原案の作成</li> <li>・2017 年度：被害予測手法の開発，数値シミュレーション，対策のあり方検討</li> <li>・2018 年度：報告書原案の執筆</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	今津雄吾 (清水建設)、高麗憲志 (神戸大学)、近藤史朗 (清水建設)、城明秀 (竹中工務店)、鈴木淳一 (国土技術政策総合研究所)、鈴木秀和 (日本建築総合試験所)、関澤愛 (東京理科大学)、西野智研 (京都大学)、野竹宏彰 (清水建設)、森山修治 (日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市レベルで津波火災の被害を予測する手法を開発し，南海トラフ地震津波を想定した数値シミュレーションを行った。また，その結果を基に，津波避難ビルの配置や防火対策のあり方について議論した。</li> <li>2. 津波避難ビルに作用する津波火災外力の想定方法を整理し，鉄骨造の津波避難ビルを対象に火災応答解析を行った。また，耐火被覆といった対策により，津波火災に対しても構造安全性を確保できる可能性を示した。</li> <li>3. 自治体の防災職員を対象に，津波火災を考慮した津波避難ビルの指定ガイドラインを作成するワークショップ (11/29 と 12/13 の計 2 回，参加者計 25 名) を企画し，実施した。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	